

ほうれんそう に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和6年10月2日現在】

<殺菌剤>

薬剤名	適用病害虫									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	べと病	うどんこ病	灰色かび病	根腐病	立枯病	萎凋病	褐斑細菌病	軟腐病	その他 病害虫							
ガスタード微粒剤				●	●	●			株腐病、ほうれんそうウケナガコナダニ、一年生雑草	20~30kg/10a	は種10日前	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	ダゾメット	1回	8F
									ほうれんそうウケナガコナダニ	10kg/10a	は種10日前	1回	本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。			
リドミル粒剤2	●									9kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	メタラキシル	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、は種時は1回以内)	4
リゾレックス水和剤									苗立枯病 (リゾクトニウム)	500倍 (3ℓ/㎡)	は種時	1回	土壌灌注	トルクロホスメチル	1回	14
										種子重量の0.5%粉衣	は種時	1回	種子粉衣			
バンタック水和剤75									苗立枯病 (リゾクトニウム)	種子重量の0.4%	は種前	1回	種子粉衣	メプロニル	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌灌注は1回以内)	7
										200倍	は種前	1回	1時間種子浸漬			
										1000倍	は種前	1回	24時間種子浸漬			
										750~1500倍 (3ℓ/㎡)	は種時~子葉展開時	1回	土壌灌注			
タチガレン液剤					●					500~1000倍 (3ℓ/㎡)	は種時	1回	土壌灌注	ヒドロキシイソキサゾールカリウム	1回	32
										1500~3000倍 (9ℓ/㎡)	は種時	1回	土壌灌注			
										50~100倍 (300ml/㎡)	は種前	1回	全面散布後土壌混和			
ヨネポン水和剤	●									500倍 (100~300ℓ/10a)	収穫14日前まで	4回以内	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅	4回以内	M01
レーバフロアブル	●									2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	2回以内	散布	マンジプロバミド	2回以内	40

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

＜殺菌剤＞ ほうれんそう

【令和6年10月2日現在】

薬剤名	適用病害虫									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 ＜備考＞	分類 コード		
	べと病	うどんこ病	灰色かび病	根腐病	立枯病	萎凋病	褐斑細菌病	軟腐病	その他 病害虫									
ライメイフロアブル	●									2000～4000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	アミスルブロム	2回以内	21		
ランマンフロアブル	●									2000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	シアゾファミド	3回以内	21		
アリエッティ水和剤	●								白斑病	1500倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	ホセチル	2回以内	P07		
Zボルドー	●						●	斑点細菌病、黒腐病、黒斑細菌病		500倍 (100～300ℓ/10a)	-	-	散布	塩基性硫酸銅	-	＜野菜類(キャベツを除く)該当＞	M01	
										500～1000倍 (100～300ℓ/10a)	-	-	散布					
コサイドボルドー								●	●	斑点細菌病、黒腐病、べと病	1000倍	-	-	散布	水酸化第二銅	-	＜野菜類該当＞	M01
ジーファイン水和剤		●						●	白さび病	1000倍 (150～500ℓ/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素ナトリウム 無水硫酸銅	-	＜野菜類(なすを除く)該当＞	NC M01	
										750～1000倍 (150～500ℓ/10a)	収穫前日まで	-	散布					
ハーモメイト水溶剤		●							さび病	800倍 (150～300ℓ/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素ナトリウム	-	＜野菜類該当＞	NC	
										800～1000倍 (150～300ℓ/10a)	収穫前日まで	-	散布					
カリグリーン		●							さび病	800倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素カリウム	-	＜野菜類(トマト、ミニトマトを除く)該当＞	NC	
										800～1000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	-	散布					
ピシロックフロアブル	●								立枯病	1000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	ピカルブトラゾクス	2回以内	U17		

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

ほうれんそう に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和6年10月2日現在】

<殺虫剤>

薬剤名	適用病害虫									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ザ ミ ナ ミ キ イ ロ ア	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ナ ホ コ レ ン ダ ソ ウ ケ	ハ ダ ニ 類	タ ネ バ エ	その他 病害虫							
ダイアジノン粒剤5								●		6kg/10a	は種時	1回	作条土壌混和又は土壌 表面散布	ダイアジノン	2回以内(但し、は種時及びは種前の土壌 混和は合計1回以内)	1B
									ヒメクロユスリカ	6kg/10a	は種前	1回	土壌混和			
ダイアジノン水和剤34	●									2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫21日前まで	2回 以内	散布	ダイアジノン	2回以内(但し、は種時及びは種前の土壌 混和は合計1回以内)	1B
ラグビーMC粒剤									ネコブセンチュウ	20kg/10a	は種前	1回	全面処理土壌混和	カズサホス	1回	1B
カルホス微粒剤F								●		6kg/10a	は種時	1回	作条処理土壌混和	イソキサチオン	1回	1B
エルサン乳剤	●					●				1000~2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫21日前まで	1回	散布	P A P	1回	1B
				●	●					1000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫21日前まで	1回	散布			
アディオナ乳剤	●								ハクサイダニ	3000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	散布	ペルメトリン	2回以内	3A
スミチオン乳剤	●					●				1000~2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫21日前まで	2回 以内	散布	MEP	2回以内	1B
ダニトロンフロアブル							●			2000倍 (150~300ℓ/10a)	収穫21日前まで	1回	散布	フェンピロキシ メート	1回	21A
マラソン乳剤	●									2000~3000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	マラソン	4回以内	1B

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> ほうれんそう

【令和6年10月2日現在】

薬剤名	適用病害虫								希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数	分類 コード
	ア ブラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ザ ミ ナ ミ キ イ ロ ア	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ホ ウ コ ン ダ ソ ウ ケ	ハ ダ ニ 類	タ ネ バ エ							
ランネート45DF			●	●					1000~2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	メソミル	4回以内	1A
	●								1000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布			
アグロスリン乳剤	●			●					2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	シペルメトリン	5回以内	3A
			●						1000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布			
パダンSG水溶剤			●					アシグロハモグリバエ、シロオビノメイガ	1500倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	カルタップ	2回以内	14
ノーモルト乳剤				●					2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	テフルベンズロン	2回以内 (昆虫成長制御剤)	15
アクタラ顆粒水溶剤	●							ウリハムシモドキ	2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	チアメトキサム	3回以内(但し、種子への処理及びは種時の作条混和は合計1回以内、散布は2回以内)	4A
カスケード乳剤					●	●		マメハモグリバエ、シロオビノメイガ、アシグロハモグリバエ	4000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	フルフェノクスロン	3回以内 (昆虫成長制御剤)	15
アフーム乳剤					●	●			2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	エマメクチン安息香酸塩	2回以内	6
アドマイヤーフロアブル	●	●						ウリハムシモドキ	4000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	イミダクロプリド	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	4A
アドマイヤー顆粒水和剤	●								10000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	イミダクロプリド	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	4A
スピノエース顆粒水和剤		●						アシグロハモグリバエ、シロオビノメイガ	5000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	スピノサド	2回以内	5

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

＜殺虫剤＞ ほうれんそう

【令和6年10月2日現在】

薬剤名	適用害虫									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数	分 類 コード (IRAC)
	ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ザ ミ ナ ミ キ イ ロ ア	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ナ ホ ウ コ レ ン ダ ン ウ ケ	ハ ダ ニ 類	タ ネ バ エ	その他 害 虫							
ディアナSC		●			●				シロオビノメイガ、 ハクサイダニ、ハモ グリバエ類	2500～5000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	スピネトラム	2回以内	5
						●				2500倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布			
プレオフロアブル					●				ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ	1000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	ピリダリル	2回以内	UN
プレバソソフロアブル5					●				シロオビノメイガ	2000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	クロラントラニリ プロール	3回以内	28
アルバリン粒剤/ スタークル粒剤	●									6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回 以内、散布は2回以内)	4A
リーフガード顆粒水和剤	●	●				●			アシグロハモグリバ エ	1500倍 (100～300ℓ/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	チオシクラム	2回以内	14
ウララDF	●									4000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	フロニカミド	2回以内	29
ダントツ水溶剤	●									4000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	クロチアニジン	4回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以 内、散布は3回以内)	4A
フォース粒剤						●			ネキリムシ類	9kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	テフルトリン	1回	3A
コテツベイト						●				3～6kg/10a	は種時～2葉期まで (但し、収穫14日前ま で)	1回	全面土壌散布	クロルフェナピル	1回	13
ファインセーブフロアブル		●								2000倍 (100～300ℓ/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	散布	フロメトキン	2回以内	34

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

ほうれんそう に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和6年10月2日現在】

<除草剤>

薬剤名	対象雑草	使用量・薬量 (使用希釈液量)	使用時期	使用回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の総使用回数	分類コード
ナブ乳剤	一年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）	150～200mℓ/10a (100～150ℓ/10a)	雑草生育期（イネ科雑草3～5葉期） (但し、収穫7日前まで)	1回	雑草茎葉散布又は全面散布	セトキシジム	1回	1
マイゼット	一年生雑草	600～1000mℓ/10a (100～150ℓ/10a)	は種前又は植付前	3回以内	雑草茎葉散布	ジクワット	3回以内	22
			畦間処理:雑草生育期 (但し、収穫14日前まで)	3回以内	雑草茎葉散布	パラコート	3回以内	22
プリグロックスL	一年生雑草	600～1000mℓ/10a (100～150ℓ/10a)	は種前又は植付前	3回以内	雑草茎葉散布	ジクワット	3回以内	22
			畦間処理:雑草生育期 (但し、収穫14日前まで)	3回以内	雑草茎葉散布	パラコート	3回以内	22
バスタ液剤	一年生雑草	300～500mℓ/10a (100～150ℓ/10a)	収穫7日前まで (雑草生育期耕起前・は種前又は畦間処理)	2回以内	雑草茎葉散布	グルホシネート	2回以内	10
タッチダウンiQ	一年生雑草	250～500mℓ/10a (25～50ℓ/10a)	耕起又はは種7日以前(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	3回以内	9
ラウンドアップマックスロード	一年生雑草	200～500mℓ/10a (通常散布50～100ℓ/10a) (少量散布5～50ℓ/10a)	耕起前又はは種前まで(雑草生育期)	3回以内	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	3回以内	9
ラッソー乳剤	一年生雑草	150mℓ/10a (100ℓ/10a)	は種直後	1回	全面土壌散布	アラクロール	1回	15

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。